



赤羽一丁目第一地区 第一種市街地再開発事業



※掲載内容は現時点における検討案であり確定した内容ではありません。

赤羽一丁目第一地区市街地再開発準備組合

赤羽一丁目第一地区について

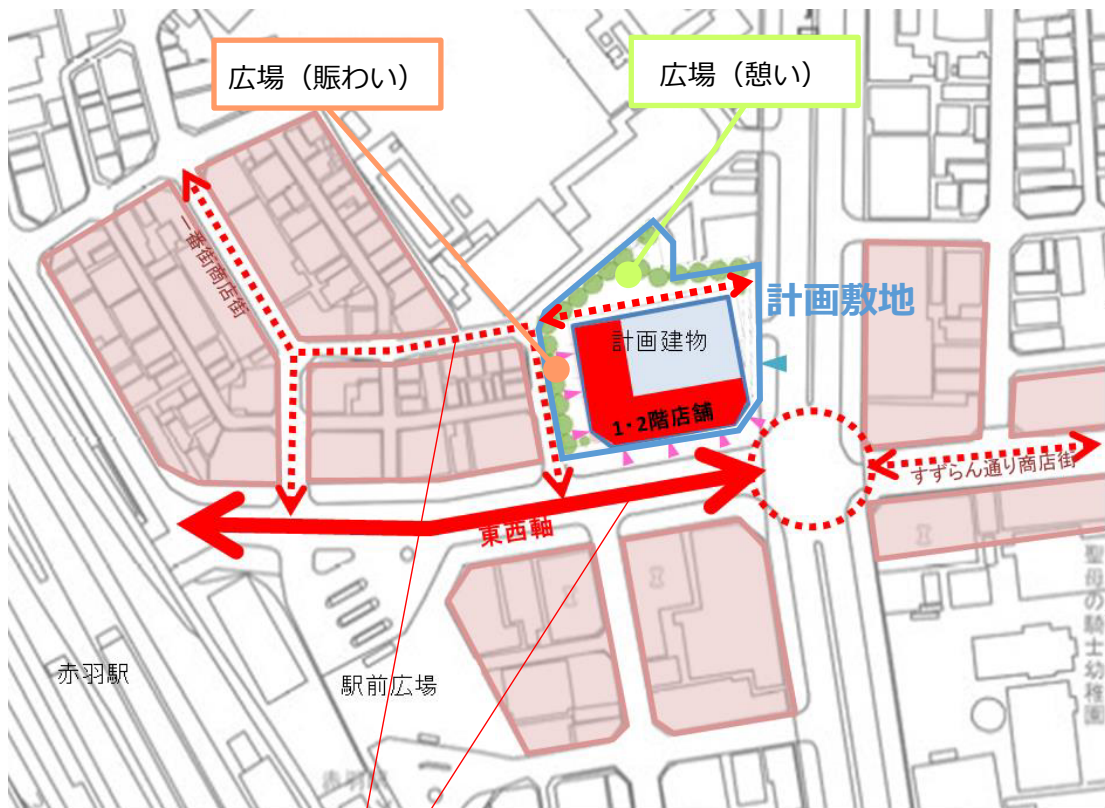
赤羽一丁目第一地区は「東京の北の玄関口」であるJR赤羽駅に近接した約0.5haの区域です。赤羽駅東口駅前広場は都内各所からのバスルートが集中した交通結節点機能を有し、また駅周辺は区内最大の商業集積地として多くの来街者で賑わいを見せています。

一方、地区内には老朽化した建物が密集し、来街者や住民が集えるゆとりある滞留空間が不足していることから、防災安全性や都市環境の面から改善が求められています。

そのため、本地区では地域の防災性向上と、駅前立地としてふさわしい「にぎわいの拠点」を形成するため、街区内を大街区化し、公共的な広場・空地を確保するとともに、商業中心地として地域商業と調和・共存する商業施設等を整備し、多様なライフスタイルに対応した良質な都市型住宅を供給します。



整備の考え方と整備のイメージ



既存の商業集積 人の流れ 人の出入 車の出入

○ 地域歩行者ネットワーク

事業コンセプト

駅前立地の都市環境づくり

- 大街区化の促進
- 高度利用化の促進
- 不燃化、耐震化の促進

赤羽の顔に相應しい 「商・住複合ゾーン」の創造

良好な都市型住宅の供給

- 都市型住宅の供給
- 多世代対応型住宅

賑わいと交流の創出

- 活気ある商業施設
- 地域歩行者ネットワークの形成

広場（賑わい）イメージ



広場（憩い）イメージ

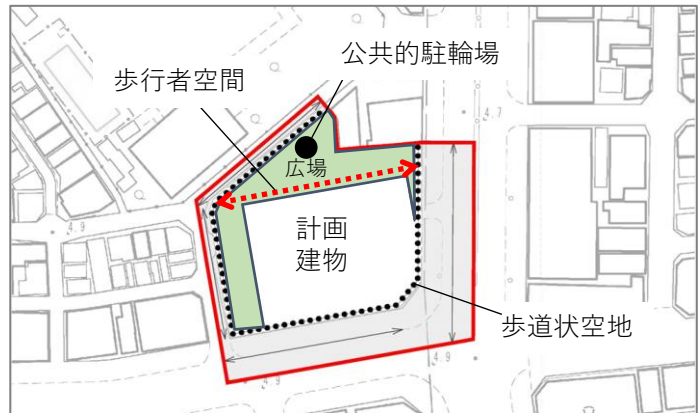


計画概要

当地区の計画建物は、商業と住宅によって構成され、低層部に商業を配置しています。

また、敷地内に広場状空気を整備し、地域コミュニティや交流・賑わいのある空間の創出に寄与するとともに、道路に沿った壁面後退部分に歩道状空気を整備し、歩行者利便性・安全性の向上を図ります。

さらに、敷地北側には歩行者空間を確保するとともに、公共的駐輪場を整備し、地域に貢献する施設を設けます。



【敷地概要】

所在地 : 赤羽一丁目10番、11番の一部
施行区域 : 約0.5ha
敷地面積 : 約2,900㎡
用途地域 : 商業地域
防火地域 : 防火地域
高度地区 : なし
地区計画 : 赤羽一丁目地区
建蔽率 : 50% (70%)
容積率 : 800% (高度利用地区)

【計画概要】

規模 : 地上26階、地下1階
主用途 : 店舗、住宅 (約300戸)
最高高さ : 約110m
構造 : 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
建築面積 : 約1,700㎡ (建蔽率約60%)
延床面積 : 約32,700㎡
容積対象面積 : 約23,100㎡ (容積率約800%)

事業の経緯及び今後のスケジュール

2016年 6月 準備組合設立

2020年 8月 都市計画決定告示

2023年 3月 組合設立認可（予定）

2024年 6月 権利変換計画認可（予定）

2024年 9月 除却整地工事着工（予定）

2025年 9月 施設建築物新築工事着工（予定）

2028年 4月 施設建築物新築工事完了（予定）

※掲載内容は現時点における検討案であり確定した内容ではありません。

赤羽一丁目第一地区市街地再開発準備組合

〒115-0045 東京都北区赤羽2丁目19-7 リームメンヒル2階

TEL：03-5939-7540

FAX：03-5939-7541

2022年3月発行